

部局名	都市整備部			所属名	土木建設課			所属長名	新谷 等			電 話	483-1151 内線3620		
-----	-------	--	--	-----	-------	--	--	------	------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3698		事務事業名称	道路橋梁補修事業								短縮コード	経常	3698	臨時	3297
予算区分	会計	01	一般会計		款	08	土木費		項	02	道路橋梁費		目	02	道路橋梁維持費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		道路法第16条，42条									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
市道および橋梁などの道路施設を維持するため、損傷部分等の補修工事を実施し、通行の安全を図る。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系		6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして							
道路などの老朽化や車両等の交通量の増加により、補修を要する箇所が著しく増加している。従って、事業費も増加している。							大項目（節）	01	第1節総合交通							
							中 項 目		02	2. 道路						
							小 項 目		03	(3)一般市道の整備						
							細 項 目		02	②市道の整備						
03	③橋梁の整備															
					実施計画の計画事業		5063	道路補修事業								
							5064	橋梁補修事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～				計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市が管理する道路							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 舗装道補修工事，小規模工事							
	※平成24年度に計画していること： 舗装道補修工事，小規模工事							
意図 （何を狙っているのか）	道路の機能を維持する							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分			単位	22年度		23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	要補修整備件数	件	77	33	79	50	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	補修整備件数	件	77	33	79	50	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	整備率	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3698	事務事業名称	道路橋梁補修事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			市道および橋梁等の経年劣化等が進行していく状況の中で、抜本的な改修の必要性も考慮されるが、当面においては現状のまま継続していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			道路等の維持補修に対する市民の要望は多種多様であり、また増加している状況である。それに対応し、市が管理する道路等を良好に管理していくためには、経費および人員の増加となる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市道および橋梁等において、車両等の通行の増加や経年変化による施設の損傷等に対する補修や修繕を速やかに実施するよう意見や要望がある。									

所属長コメント	市が管理する道路および橋梁等を良好に維持管理していくにあたり、市民要望等を考慮のうえ計画的な補修等を実施する。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									